

専門図書館協議会 2021 年度全国研究集会概要 (6月8日～9日)

時間	内 容
6月8日 (火) 【1-1】 13:30～ 14:30	テーマ：「専門図書館と著作権 最新動向 2021」(仮) 講 師：生貝直人氏 (一橋大学大学院法学研究科 准教授) 内 容：著作権法は毎年のように改正され、その動向は様々な図書館活動に密接に関わっています。講師には文化審議会著作権分科会専門委員としてもご活躍の生貝直人氏を迎え、専門図書館をめぐる著作権法改正点を中心とした最新動向と今後の課題についてお話しいただきます。
【1-2】 14:40～ 15:40	テーマ：「企業の価値を高める企業図書館」 講 師：石田嘉郎氏 (株ニチレイフーズ研究開発部食品科学グループ マネージャー) 内 容：企業の研究開発部門の中核である企業図書館は、企業の経営状況等により、予算や人員縮小といった影響を受けやすい課題を抱えています。こうしたなか、情報流通のハブとして如何に図書館の価値を發揮し、企業価値向上に役立てるかが重要です。ニチレイフーズが、環境の整備とコンテンツの整備という視点でリニューアルしたご経験をお話しいただきます。
【1-3】 15:50～ 17:20	テーマ：「専門図書館の資金調達」 講 師：廣安ゆきみ氏 (READYFOR 株式会社) 講 師：武藤祥子氏 (公益財団法人松竹大谷図書館) 講 師：鴨志田浩氏 (公益財団法人大宅壮一文庫) 内 容：専門図書館にとって、予算の確保は重要な問題です。運営母体からの確保に頼らず、寄付金を募ることで資金調達に取り組んでいる専門図書館のお話を伺いながら、資金調達の意義や課題を考えたいと思います。クラウドファンディングの概要と松竹大谷図書館や大宅壮一文庫の実際の取り組みについて、それぞれお話しいただきます。
【1-4】 17:45～ 18:45	オンラインサロン※参加費無料 参加者を中心とした交流の場を設定しました。 再度のご入場が必要になります。

時間	内 容
6月9日 (水) 【2-1】 13:30～ 14:30	テーマ：「保存管理自己点検表」実践から学ぶ資料保存 助言者：眞野節雄氏 (日本図書館協会資料保存委員会委員長) 報告者：能勢美紀氏 (日本貿易振興機構アジア経済研究所図書館) 内 容：専図協では、本年ご逝去された安江明夫氏のご協力を得て「保存管理自己点検表」の専門図書館版を作成しました。安江氏の指導を受けたアジア経済研究所の取り組みについての報告と眞野氏の助言をいただき、今後の資料保存について学ぶ場とします。
【2-2】 14:40～ 15:40	テーマ：「今すぐ始める図書館資料の水害対策」 講 師：眞野節雄氏 (日本図書館協会資料保存委員会委員長) 内 容：東日本大震災はじめ、2019年の台風19号などの大きな災害により、多数の図書館で水害が発生しています。資料をどう守り、救えばよいのでしょうか。事前に備えるべきことは？実際の場面での手法は？緊急度の高い「水害対策」について、専門家の眞野氏からお話しいただきます。
【2-3】 15:50～ 17:20	テーマ：「繋がるデジタルアーカイブ～今、専門図書館ができること～」 講 師：奥村牧人氏 (国立国会図書館電子情報部) 講 師：中村 覚氏 (東京大学史料編纂所) 内 容：今や世界は、国内外のデジタルアーカイブを、共通の検索プラットフォームで横断検索し、ワンストップで自由に閲覧・利用する時代に入っています。こうしたなか、専門図書館が、出来る限りオープンに情報資源を提供し、他機関との横断検索やコンテンツの利活用を推進していくための基礎知識を学ぶ場を提供します。講師に Japan Search の連携実務ご担当の国立国会図書館電子情報部の奥村氏と本分野の専門家である東京大学史料編纂所の中村覚氏をお招きし、デジタルアーカイブ連携についてわかりやすくお話しいただきます。